

臨床心理学

1 単位 (必修) 2 年 (後期)

Clinical Psychology

伊賀 弘起 (授業責任者)・教授 / 口腔保健学科 口腔保健基礎学講座, 佐藤 健二・教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部
 原 幸一・准教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部, 境 泉洋・准教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部
 内海 千種・講師 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部, 福森 崇貴・講師 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

【授業目的】臨床心理学の理論と実際の基礎を学習することを目標とする。

【授業概要】他者の気持ちを理解し、共感し、自分の気持ち、考えを伝える能力は、患者、他職種とのコミュニケーションの上で、非常に重要である。また、心と身体は密接につながっており、身体的問題の理解に際して、その心理的側面の理解は不可欠である。したがって「心の問題」の理解と制御を扱う臨床心理学の基礎の習得は、ヘルスバイオサイエンスを基盤とする医学、歯学、薬学、栄養学、保健学領域において重要と言える。そこで、本講義では、臨床心理学の定義、対象、方法(代表的な心理検査、心理療法)について、初学者を考慮して、その基礎を概説する。

【授業形式】講義

【授業方法】講義形式。映像教材などを用いて、臨床心理学の理論と実際の基礎を学ぶ。

【授業場所】常三島キャンパス総合科学部 1 号館または共通教育 5 号館 (未定)

【履修上の注意】本講義は、歯学科、口腔保健学科、保健学科、栄養学科、薬学科との合同の集中講義である。私語厳禁(他の受講生に迷惑)。

【到達目標】臨床心理学の理論と実際の基礎を理解する

【授業計画】

| | 大項目 | 中項目 | 担当 |
|-----|-------------------|-----------------|----|
| 1. | 臨床心理学とその対象 | 不安障害など | 佐藤 |
| 2. | 臨床心理学における測定方法 | 質問紙法、投映法など | 福森 |
| 3. | 無意識を重視する心理療法 | 催眠療法、精神分析、分析心理学 | 原 |
| 4. | すべての心理療法の基礎 | クライアント中心療法 | 〃 |
| 5. | 発達障害とその支援 | | 〃 |
| 6. | 臨床心理学的コミュニケーション総説 | 非言語的コミュニケーション | 福森 |
| 7. | 〃 | 言語的コミュニケーション | 〃 |
| 8. | 行動療法 | 系統的脱感作法、オペラント技法 | 境 |
| 9. | 不登校・ひきこもりへの支援 | | 〃 |
| 10. | 非行への支援 | | 〃 |

| | | | |
|-----|---------------------|-----------------------|-------|
| 11. | うつ病に対する認知療法, 認知行動療法 | | 佐藤 |
| 12. | 心身症に対する認知行動療法 | 摂食障害, 歯科心身症等 | 〃 |
| 13. | 外傷経験時の心理的問題とその支援 | 概説 | 内海 |
| 14. | 外傷後ストレス障害への心理療法 | 持続エクスポージャー法を中心に | 〃 |
| 15. | 遊戯療法 | 虐待, 外傷後ストレス障害との関連において | 〃 |
| 16. | 試験 | | 佐藤・内海 |

【成績評価】筆記試験。100 点満点で 60 点以上のものを合格とする。

【再試験】行わない。

【教科書】

- ◇教科書: 使用しない。
- ◇参考書: 適宜, 紹介する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217362>

【連絡先】

⇒ satoken@ias.tokushima-u.ac.jp